

# ネットDV防止に向けて

## デートDVについて知っていますか？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは夫・恋人からの暴力のことです。内閣府の調査によれば、既婚女性の3人に一人がDVを経験しており、子どもにとっても心理的な虐待とされています。10代～20代の若い世代のカップルにもDVは少なくありません。女子高校生の34%が交際相手からのDVを体験しています。（2007年度ウィメンズネット・こうべ調査より）被害者にも加害者にもならないために、若い世代へ向けた予防教育が必要です。お互いを尊重し対等な関係を築くことができるように、高校生を対象にしたデートDV防止授業への取り組みが全国各地で始まっています。高校生における、デートDVの現状とその影響や防止に向けての取り組みを知って下さい。

講師 正井礼子（NPO 法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 代表）

### 講師紹介

NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 代表理事  
三木市男女共同参画センター 女性問題相談員



「女性に対する暴力」の根絶、特にDV被害者の支援活動に力を注ぎ、2001年より「DV被害者サポーター養成講座」を各地で開催し、DV被害者サポートラインの開設、サポーターの育成にも力を注いでいる。活動を通して、被害者も加害者もつくりたくないために、若い世代へ向けたDV防止教育の必要性を痛感し、2007年より兵庫県内の高校でデートDV防止授業を開始する。相談活動の他、女性の人権トレーナーとして講座や自治体の職員研修なども行なっている。

日時 2008年7月15日（火）

午後2時～午後4時

場所 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン

神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号  
神戸クリスタルタワー7階  
(078)360-8550

対象 教職員及び一般市民

問い合わせ・予約

TEL&FAX 078-734-1308（ウィメンズネット・こうべ）



主催 NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ、

共催 兵庫県立男女共同参画センター 後援 兵庫県教育委員会